

Q&A

貧血のスクリーニング中に発見された胃粘膜下腫瘍

【問 題】

患者：80歳代男性。

主訴：貧血。

現病歴：検診にて貧血を指摘され、全身スクリーニングで行われた上部消化管内視鏡検査で、胃粘膜下腫瘍を認めた。その際行われた胃粘膜生検では group I であった。精査加療目的に当院に

紹介となった。

既往歴：前立腺肥大。

家族歴：特記事項なし。

生活歴：飲酒 なし、喫煙 10本/日。

血液検査所見：WBC 4300/ μ L, RBC 388×10^4 / μ L, Hb 8.7g/dL, HCT 29.6%, PLT 19.9×10^4 / μ L, TP 6.9g/dL, Alb 3.7g/dL, AST 20IU/L, ALT 11IU/L, LDH 191IU/L, γ GTP 17IU/L, ALP 346IU/L, T-bil 0.5mg/dL, Na 144mEq/L,

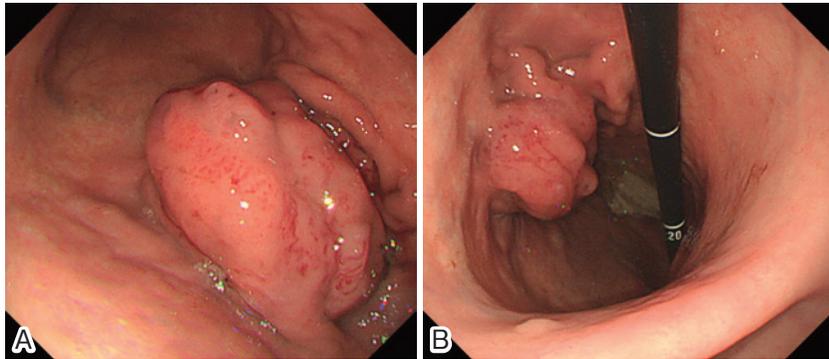


Figure 1. (A, B) 上部消化管内視鏡で胃体部大弯に軽度発赤した正常粘膜に覆われた隆起性病変、粘膜下腫瘍を認める。前医での生検、および当院での生検結果も G-I であった。

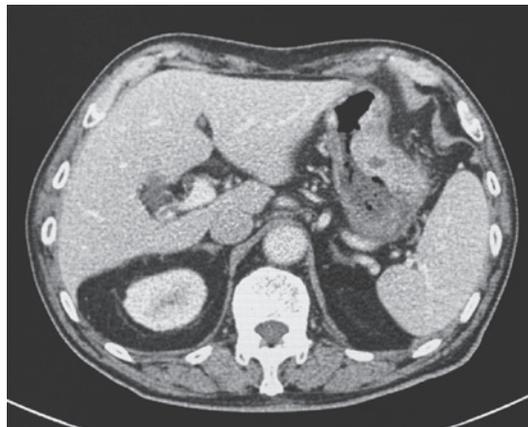


Figure 2. 腹部造影 CT 検査。

2021年4月

K 4.2mEq/L, Cl 107mEq/L, BUN 11mg/dL, Cr 0.99mg/dL, CEA 2.5ng/mL, CA19-9 9U/mL.

画像所見：当院受診後の上部消化管内視鏡検査 (Figure 1) および腹部造影 CT 検査 (Figure 2)

の画像を示す。

1. 胃腫瘍の鑑別診断は？
2. 診断を確定するには？